

スギ品種別特性表



鹿児島県森林技術センター内 スギ在来品種見本園

平成25年9月

鹿児島県森林技術総合センター

オビアカ

代表的なスギ精英樹クローン：県始良3号，県始良4号

特性等

- ・ 肥沃林業地帯の全域に植栽されていたため、地名から名が付いた品種で、オビスギの一品種です。
- ・ 成長に持続性があり、20年以後に成長が旺盛になります。
- ・ 心材色は、鮮紅色ないし赤紫色です。
- ・ 樹幹通直で、根元の湾曲性もなく、断面は正円に近くなり、落枝性が高い特徴があります。
- ・ 葉は柔らかく弾力性を感じ、油分が多いのが特徴で、夏季は濃い緑色、冬季は赤褐色に変化します。

形質等の評価

← 劣る 普通 良い → (成長が良い, 花粉が少ない等)

区分		1	2	3	4	5	参考
成長	樹高				●		スギ精英樹特性表(30年次)
	胸高直径					●	〃
	初期成長			●			スギ精英樹特性表(10年次)
通直性	根元曲がり				●		スギ精英樹特性表(30年次)
	幹曲がり				●		〃
	真円性			●			〃
	幹の完満性				●		〃
材質	強度			●			〃
	心材色					●	〃
気根数		●					スギ精英樹特性表(20年次)※
発根性				●			スギ精英樹特性表(30年次)
花粉量					●		〃

注)1 上記の表は林木育種センター九州育種場が作成したスギ精英樹特性を参考とし、オビアカ系統のスギ精英樹県始良4号のデータを基に作成しています。(※気根数は県始良3号を参照)

2 気根数と花粉量については、評価「良い」の方が「発生量が少ない」ことを表しています。



針葉は直線・鈍頭型で僅かに湾曲，小緑枝は短く垂れない

サツマメアサ

代表的なスギ精英樹クローン：県鹿児島1号，県始良49号

特性等

- ・葉の色が浅黄色（芽が浅黄色）から名が来ており、漢字で芽浅黄（メアサ）が由来とされています。
- ・晩生型で特に幼時の成長が遅いのが特徴です。
- ・材質は、心材が淡紅色いわゆる赤心系で、辺材部は淡黄色です。
- ・樹幹は根曲がりを持ち、やや蛇行性がありますが、大木ではほとんど通直になります。
- ・葉の先が尖り、手触りがやや堅く痛い。
- ・葉の色は冬も黄緑色で、年間を通じて変化が最も少ないのが特徴です。

形質等の評価

← 劣る 普通 良い → （成長が良い，花粉が少ない等）

区分		1	2	3	4	5	参考
成長	樹高		●				スギ精英樹特性表(30年次)
	胸高直径			●			//
	初期成長		●				スギ精英樹特性表(10年次)
通直性	根元曲がり			●			スギ精英樹特性表(30年次)
	幹曲がり			●			//
	真円性					●	//
	幹の完満性			●			//
材質	強度		●				//
	心材色					●	//
気根数				●			スギ精英樹特性表(20年次)
発根性						●	スギ精英樹特性表(30年次)
花粉量						●	//

注) 1 上記の表は林木育種センター九州育種場が作成したスギ精英樹特性を参考とし、メアサ系統のスギ精英樹 県鹿児島1号のデータを基に作成しています。

2 気根数と花粉量については、評価「良い」の方が「発生量が少ない」ことを表しています。



針葉は直線・鈍頭型で僅かに湾曲し、先端がくちばし状

キジンスギ

代表的なスギ精英樹クローン：県肝属1号，県肝属2号

特性等

- ・ 芯芽の中心が黄色いことからこの名になったとされています。
- ・ 県内のスギ品種の中で最も成長の早く、被陰下での成長が良好で、耐陰性が高い特徴があります。
- ・ 心材色は淡紅色ですが、材質は比較的もろく、風害に弱いと言われています。
- ・ 樹幹は通直で、断面は正円に近い形状です。
- ・ 葉はやや長くて堅く尖っているため、握りしめると強い痛さを感じます。
- ・ 葉の色は、夏は黄緑色、冬は帯黄褐色となります。

形質等の評価

← 劣る 普通 良い → (成長が良い, 花粉が少ない等)

区分		1	2	3	4	5	参考
成長	樹高				●		スギ精英樹特性表(30年次)
	胸高直径				●		//
	初期成長					●	スギ精英樹特性表(10年次)
通直性	根元曲がり				●		スギ精英樹特性表(30年次)
	幹曲がり				●		//
	真円性				●		//
	幹の完満性				●		//
材質	強度			●			//
	心材色				●		//
気根数				●			スギ精英樹特性表(20年次)
発根性				●			スギ精英樹特性表(30年次)
花粉量				●			//

注)1 上記の表は林木育種センター九州育種場が作成したスギ精英樹特性を参考とし、キジン系統のスギ精英樹 県肝属1号のデータを基に作成しています。

2 気根数と花粉量については、評価「良い」の方が「発生量が少ない」ことを表しています。



針葉は直線型
密生した感じで葉量が多い

ハライガワ

代表的なスギ精英樹クローン：県肝属8号，鹿屋署1号

特性等

- ・鹿屋市祓川で発見され、地名をとってハライガワと命名されています。
- ・さし木発根性が良好で、成長は早～中生型とされています。
- ・心材色は帯黒赤褐色ですが、材が乾燥すれば黒味はほとんどなくなります。
- ・樹幹は通直で、根曲がりも少ない。
- ・樹皮は薄く、裂片幅が大きい流れ肌、剥離性があります。
- ・葉の感触はやや堅いですが、刺感はありません。
- ・葉の色は、夏は濃緑色、冬は淡紫色となります。

形質等の評価

← 劣る 普通 良い → (成長が良い, 花粉が少ない等)

区分		1	2	3	4	5	参考
成長	樹高					●	スギ精英樹特性表(30年次)
	胸高直径					●	〃
	初期成長				●		スギ精英樹特性表(10年次)
通直性	根元曲がり						スギ精英樹特性表(30年次)※
	幹曲がり						〃 ※
	真円性				●		スギ精英樹特性表(30年次)
	幹の完満性				●		〃
材質	強度		●				〃
	心材色					●	〃
気根数							スギ精英樹特性表(20年次)※
発根性			●				スギ精英樹特性表(30年次)
花粉量							〃 ※

注)1 上記の表は林木育種センター九州育種場が作成したスギ精英樹特性を参考とし、ハライガワ系統のスギ精英樹県肝属8号のデータを基に作成しています。(※は参考データなしのため無評価)

2 気根数と花粉量については、評価「良い」の方が「発生量が少ない」ことを表しています。



針葉は接触型
小緑枝がやや長く、
曲がって垂れる

イッポンスギ

代表的なスギ精英樹クローン：県指宿1号，県指宿2号

特性等

- ・ 指宿郡一円で育成された品種
- ・ 樹高成長が良好で、比較的痩せ地に強いが、赤枯病に弱いので他のクローンと混植するのが望ましいとされています。
- ・ 樹高は高く、径も太い。
- ・ 樹幹は通直で、枝細く樹冠が狭い特徴があります。
- ・ 葉量が多く、枯れ葉が落ちない。
- ・ 葉の色は、冬に赤褐色に変化します。

形質等の評価

← 劣る 普通 良い → (成長が良い, 花粉が少ない等)

区分		1	2	3	4	5	参考
成長	樹高					●	スギ精英樹特性表(30年次)
	胸高直径					●	//
	初期成長					●	スギ精英樹特性表(10年次)
通直性	根元曲がり				●		スギ精英樹特性表(30年次)
	幹曲がり				●		//
	真円性					●	//
	幹の完満性			●			//
材質	強度			●			//
	心材色			●			//
気根数							スギ精英樹特性表(20年次)※
発根性		●					スギ精英樹特性表(30年次)
花粉量				●			//

注)1 上記の表は林木育種センター九州育種場が作成したスギ精英樹特性を参考とし、イッポンスギ系統のスギ精英樹県指宿2号のデータを基に作成しています。(※は参考データなしのため無評価)

2 気根数と花粉量については、評価「良い」の方が「発生量が少ない」ことを表しています。



針葉は直線型で、先端がくちばし状

スギ品種の主な特性比較

品種名	成長特性	心材色	冬季の葉色
オビアカ	成長が旺盛, 幹は通直	鮮紅色、赤紫色	赤褐色
サツメアサ	晩生型, 幼時の成長が遅い	淡紅色	黄緑色
キジンスギ	県内で最も成長が早い, 材質がもろく, 風害に弱い	淡紅色	帯黄褐色
ハライガワ	発根性は良好で, 早～中生型	帯黒赤褐色	淡紫色
イッポンスギ	樹幹通直, 樹高は高く, 径も太い	— (資料なし)	赤褐色

引用文献：「九州のスギとヒノキ」宮島 寛, 1989
「スギ精英樹特性表 -30年次- 九州育種基本区」独立行政法人森林総合研究所 林木育種センター九州育種場, 2009
「スギ精英樹特性表」九州地区林業試験研究機関連絡協議会（育種部会）, 1998